

新小学校2校の校名が決定しました

1月30日の教育委員会定例会で、19年4月に行う淳城3校統合に伴う新小学校2校の校名を次のとおり決定しました。

〔問合せ〕 学校教育係 ☎ 89-2946

淳城西小学校…淳一小と淳二小の一部の学区で構成される小学校
淳城南小学校…淳三小と淳二小および
第四小の一部の学区で構成される小学校

淳城3校統合と校名決定の経緯

◎21世紀能代市学校教育環境適正化検討委員会（会長 菅野重夫・14年1月設置）による市街地の学校についての提言（16年2月26日）

子どもの数が減少しているため、長期的に見ると適正な学校規模の維持は困難であり、狭い範囲に三つの小学校があり統合しても通学距離が許容できることから、淳城第一、第二、第三の3小学校を2校とすることが望ましい。

◎能代市立学校統合協議会・能代市立学校学区適正化推進協議会（会長 谷内幸保・16年6月設置）による答申（16年11月25日）

市街地の子どもたちに等しく望ましい教育環境を与えるという視点から統合が必要。統合にあたっては各学校が平等になるよう、いったん3校を全て廃止し新たに2校を設置することが必要と考えた。校名については関係校と協議し決定することが妥当と考えた。

この答申を受け、市では、淳城第一、第二、第三小学校をすべて廃止し、新たに二つの小学校を設置することとし、実施日を19年4月1日と決定しました。（17年4月）

広く学校関係者の意見を反映させるため、17年5月に設置した淳城3校統合2校新設準備会（会長 石田綾子）では、事前の交流事業や校名・校歌・校章・校訓、通学路、保護者負担の伴うことなどについて協議中です。

校名については、PTA・関係自治会・同窓会・教職員・教職員OB・児童対象のアンケート結果などを参考に、「淳城」を付ける・「方位」を付けるの二つに意見集約しました。

この意見を受け、教育委員会では、市議会の意見も聴きながら協議を重ねた結果は次のとおりです。

○学校が設置される能代港町地域を示し、地域の人々が親しんできた地名「淳城」を二つの小学校に付ける

○それぞれの学校を区別するため、「淳城」の後に簡単な文字（方位）を付ける

○方位に関する日本の伝統的な考え方の中に、「東西」や「南北」のように優劣性がつかえるものがあるが、新設の2校は平等である

○現在の淳城3校は、淳城学校が児童数の増加によって枝分かれした学校であることから、淳城学校のあった場所（市役所）を起点として方位を付けること「西」と「南」になる

以上の考えから、淳一小と淳二小の一部の学区で構成される小学校校名を「淳城西小学校」に、淳三小と淳二小および第四小の一部の学区で構成される小学校校名を「淳城南小学校」に決定しました。今後、市議会に能代市立学校条例の改正を提案します。

また、淳一小、淳二小、淳三小が廃止され、校名から数字が取れることに伴って、第四小、第五小の校名も変更する必要があるのではないかとこの意見もありましたが、

○両校の校名については、地域住民の意見を尊重すべきである

○両校の学区となっている地域は、今後交通事情等によって大きく変わらう可能性があるため、校名変更の気運が高まる時を待つべきである

この考えから、現時点では第四小と第五小の校名を変更しないこととしました。

貧血を予防しましょう

貧血は、血液中のヘモグロビンが少ない状態です。ヘモグロビンは、酸素を体内に運搬する役割があります。不足すると全身が酸欠状態になり、心臓がフル稼働して血液を送り出すため、疲れやすい、何となくたるい、頭が重い、頭痛、めまい、動悸や息切れなどの症状が現れます。

貧血ぐらいと放っておくと、背後に慢性出血している病気があったり、血液の病気が原因の場合もあります。貧血といわれたら、受診し検査を受けることが大切です。

〔問合せ〕 健康増進係 ☎ 89-2159

◇貧血予防のポイント◇

○肉や魚介で効率よく鉄分を摂る…シバー、牛肉、アサリ、カキ、イワシなどは鉄分豊富

○青菜やヒジキ、大豆製品など非ヘム鉄を含む食品をバランス良く摂る

○1日3食バランスのとれた食事…栄養の偏りや朝食抜きなど乱れた食事は鉄分不足の原因

○緑黄色野菜や果物を一緒に摂る…ビタミンCは鉄分の吸収率を高める

○鉄製の調理器具を使う…鉄製の鍋・フライパンは鉄分の補給に役立つ

◆鉄分を多く含む食品◆

鶏レバー・豚レバー・シジミ・カキ・小松菜・ホウレン草・豆乳・納豆・ヒジキ・切り干し大根 など

◎成人では一日7〜10mg必要です。